



十和田市はセーフコミュニティ認証都市

事故やけがは偶然の結果ではなく、予防できるという国際的な考え方にに基づき、行政と組織、団体、住民など多くのかたの協働により、すべての市民が安全・安心に暮らすことができるまちづくりを推進しています。



安全安心モデル地区を募集します

問セーフコミュニティ推進室
☎⑤16777

事故やけがの予防を目的に活動する安全安心モデル地区を募集します。モデル地区には活動支援として補助金を交付します。対象 次のうち2つ以上のテーマに取り組む地区

- ▼子ども ▼高齢者 ▼交通事故
- ▼自殺 ▼労働 ▼スポーツ・観光 ▼防災 ▼暴力・虐待

※ただし、活動できるかたが3人以上いること

募集地区 3地区以内

※応募地区が多数の場合、書類選考となります。

申し込み方法 セーフコミュニティ推進室に備え付けの申込用紙に記入してお申し込みください。

申込期限 5月13日(金)

十和田警察署からのお知らせ 問十和田警察署 ☎③3195

5月11日から20日まで 春の全国交通安全運動を実施します

重点項目は以下の通りです。

①子どもと高齢者の交通事故防止

運転手は、道路を歩いている子どもや高齢者を見かけた場合、減速・徐行など、思いやり運転を心がけましょう。また、子どもや高齢者が外出するときは、事故に遭わないように家族ぐるみで交通安全に気を配りましょう。

②自転車の安全利用の推進

交差点では、一時停止や安全確認を行いましょう。また、二人乗り、傘さし、携帯電話の使用、ヘッドホンの使用などは危険ですので、やめましょう。

③全座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい着用の徹底

運転手自らがシートベルトを着用して、全座席の同乗者にも着用させましょう。また、チャイルドシート着用の必要性和着用効果を認識し、座席に正しく取り付けましょう。

④飲酒運転の根絶

飲酒運転の危険性、責任の重さ、事故の悲惨さを認識しましょう。飲酒する日は、自動車などでの出勤を控え、少しでも飲酒した場合は絶対にハンドルを握らず、公共交通機関や運転代行などを利用しましょう。



山菜採り遭難事故ゼロを目指そう！

今年も山菜採りの季節となりました。しかし、毎年遭難事故が後を絶たず、本市では昨年春に3件発生し、4人のかたが遭難しています。また、4人全員が65歳以上の高齢者です。

遭難はわずかな不注意や安易な行動が原因で発生します。未然防止のために次のことに注意しましょう。

■山へ出かける前に

- ・できるだけ2人以上で出かける。
- ・家族などに行き先や帰宅予定時間を知らせる。
- ・万一に備えて水、食料、ライター、雨具、コンパス、携帯電話などを持つ。
- ・体調の悪いときや悪天候のときは出かけない。

■万一、迷った場合

- ・日没後は歩き回らず救助隊を待つ。
- ・ヘリコプターの音が聞こえたら、見通しのよい場所でタオルなどを振って合図をする。

